

○20番（藤原雅彦）（登壇） 4番目、まちづくりタウンミーティングについて。

古川市長は、就任後、初めて市連合自治会と新居浜市の共催によるまちづくりタウンミーティングに参加されたと思います。

古川市長は就任前、市議会議員として1期、県議会議員として4期にわたり、地域課題に取り組まれ、市長選公約では子育て支援や財政健全化を重視する方針を示されました。特に5人のお子さんがいる子育て世代としての視点から、弱者に配慮した政策を訴えてこられました。まちづくりタウンミーティングで寄せられた意見の中で、子育て世代や高齢者、障害者など、支援を要する市民の声はどのようなものがあったのでしょうか。

また、地域ごとの課題、例えば、中心市街地の活性化や過疎地域の交通インフラ整備、災害対策など、具体的な要望などはあったのでしょうか、お伺いいたします。

古川市長は、就任時の抱負で、市役所一丸となって市政に邁進すると述べられていました。まちづくりタウンミーティングで得られた意見を来年度の施政方針や予算編成において、どのように反映させていくのでしょうか、お伺いいたします。

次に、まちづくりタウンミーティングの運営についてお聞きします。

令和7年度は16小学校区と2地区の全18会場で開催されました。今回の開催を終えて、市民との対話の場としての効果や課題を古川市長自身、どのように評価されていますか、お伺いいたします。

また、オンライン開催や若年層の参加促進など、今後の改善点や新たな取組の予定はありますか、お伺いいたします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） まちづくりタウンミーティングについてお答えいたします。

今回、市長就任後、初めてのタウンミーティングとなりましたことから、18地域全ての会場を訪れ、地域の課題とともに皆さんの御意見を直接お伺いし、全市的な対話の場をいただいたことは大変ありがたく、有意義な機会であったと感じております。支援を必要とする市民の声や地域ごとの課題につきましては、通学路等の児童生徒の安全確保の課題、災害時における避難場所や備蓄物資に対する課題や地域公共交通の在り方など、様々な御意見をいただきました。あわせて、長期総合計画の中間見直し等に関するアンケートも実施させていただき、本市の施策や私の公約に関する幅広い御意見を頂戴することができました。

こうした市民の皆様の様々な声を考慮し、道路管理にかかる費用について、今回の補正予算に計上いたしましたが、来年度の施政方針や予算編成においても反映させたいと考えております。

次に、効果や課題などについてお聞かせください。

地域の方と直接対話することで、地域ごとの課題の把握や本市の取組の理解促進につながるものと考えております。

今後、オンライン開催や若年層の参加促進などの課題につきましては、市連合自治会と共有し、新たな仕組みづくりに取り組んでまいります。

○議長（田窪秀道）　藤原雅彦議員。

○20番（藤原雅彦）（登壇）　古川市長は、昨年の選挙戦で、過去からの延長線上には新居浜の未来はないと述べ、変革の必要性を訴えてされました。まちづくりタウンミーティングを通じて市民の声を市政に反映させることで、誰もが安心して暮らせる町を実現していくと思います。今後とも市民の声を聞く、そういう姿勢を大事にしていただきたいと思います。